

2022 – 2023 Keiro助成金プログラム よくある質問 (FAQ)

申請書類について

- 1. なぜKeiroは助成金プログラムを実施しているのでしょうか。** Keiroの「助成金プログラム」は、私たちのコミュニティにいる高齢者の生活の質を向上させることを推進するプログラムの一つです。すでに多くの団体が、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティで、日系アメリカ人と日本人高齢者とその介護者にサービスとケアを提供しています。
2022-2023年のプログラムでは、日系コミュニティの高齢者とその介護者の方の生活の質の向上に注力するプログラムを支援します。Keiroは、日系文化に配慮した、人中心のアプローチで高齢者と介護者の生活の質を向上するには「健康・ウェルネス」、「生きがい」、「つながり」、「安心」、と「自主性・自律性」が必要だと理解しています。
当「助成金プログラム」は、様々な団体が既存のサービス強化、あるいは新規の革新的なサービスを作り上げることができるよう、Keiroのリソースで支援することを可能にします。
- 2. 助成金の申請書の締め切りはいつでしょうか。** 助成金の提出締め切りは2022年、10月14日（金）西部時間午後5時です。9月30日（金）までにご提出いただいた団体には、拘束力を持たないフィードバック（Non-binding feedback）を提供させていただきます。
- 3. 助成金のガイドラインはありますか？** はい、ガイドラインはございます。内容は、[keiro.org/jp/grants-program/applying-for-grants](https://www.keiro.org/jp/grants-program/applying-for-grants)こちらからご覧ください。
- 4. Keiroのスタッフの方に相談して申請書類を書いてもらうことは可能でしょうか？** Keiroスタッフは、申請要件に関する質問があれば、お答えいたします。また当プログラムに関する情報、ガイドライン、申請方法やその他質疑応答をさせていただくオンライン説明会を開催します。ご参加ご検討ください。オンラインワークショップの開催日程と申し込み手続きはこちら：<https://www.keiro.org/jp/grants-program/applying-for-grants>
- 5. Keiroのスタッフの方から申請内容に関するフィードバックを受けることはできますでしょうか？** 私たちは申請書類の質問の答えを教えたり、申請書を書くお手伝いはしておりません。申請書類を作成する際はガイドラインを良くお読みいただきますよう、申請者の皆様にはお願いしております。ご質問は、

grants@keiro.orgまで電子メールでお問い合わせください。Keiroスタッフより、申請書の答え方のアプローチ、方向性などをお伝えすることはできますが、法的拘束力はなく、必ずしも助成金審査委員会の見解を反映しているとは限りません。

申請資格について

6. **個人に助成金を提供していますか？** いいえ、個人へは助成金を提供しておりません。
7. **ロサンゼルスカウンティ以外の団体も助成金の対象ですか？** はい。Keiroはロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティにある団体へ助成金を提供することで、高齢者とその介護者の暮らしを向上させるべく尽力しています。助成金受領団体の所在地については、団体の本拠地がロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティになくとも構いません。ただし、そのプロジェクト、プログラム、またはサービスを受ける高齢者とその介護者はそれらのカウンティ内に居住している必要があります。
8. **Keiroは営利団体に助成金を提供していますか？** いいえ。Keiroでは営利団体への助成金は提供はしておりません。
9. **新しい団体で501(c)(3) ステータスを持っていませんが、申請してもよろしいでしょうか。** いいえ、残念ながらできません。すでに存在している501(c)(3) ステータスの団体がフィスカル・スポンサーとして立っていただけるか検討してみてください。ただし、申請書提出前までに、スポンサーの確保及びそれを証明するような承認書の確保はご自身でしていただく必要があります。
10. **Keiroでは「私たちのコミュニティ」をどのように定義していますか？** 「私たちのコミュニティ」とは、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラカウンティの日系アメリカ人および日本人コミュニティのことで、私たちの理念や文化に賛同する方も含まれます。
11. **過去にKeiroと関係があった団体は優遇されますか？** いいえ。助成金提供の判断は、「助成金プログラム」のガイドラインに従って、そのプロジェクトのもたらすメリットとインパクトのみに基づいて決定されます。申請団体を評価する際、以前のパートナーシップや関係は一切考慮いたしません。過去に助成金を受領したり申請したことがあっても、今回の助成金受領に関する取り扱いに影響はありません。

助成金の種類

12. **一般運営費にも助成金を使うことはできますか？** はい。Keiroは一般運営費も支援します。これはコアな運営、という種類に含まれます。プログラム促進、設備構築、そして能力構築と一緒に並ぶ一つの助成金支援の種類に含まれています。またスタッフ配置に対する支援も、能力構築の中に含まれます。
13. **Keiroからローンをもらうことはできますか？** いいえ。ローンや理念を元を実施される投資などは、助成金の対象にはなりません。
14. **設備投資のプロジェクトとプログラム促進のどちらが好ましいですか？** 直接的なサービスを支援することがKeiroの優先事項です。しかしながら設備構築にも助成金を授与します。申請内容が優先事項とガイドラインに一致していれば、設備機器の購入や改修も対象になります。また能力構築のための費用も、それぞれの状況に応じて検討対象になります。
15. **Keiroでは複数年にわたる助成金の支援を行っていますか？** いいえ、助成金の支援期間は12か月と決まっております。

助成金の支援額について

16. **助成金プログラムの申請額の最少額はございますか？** いいえ、ございません。2022-2023年の助成金サイクルの最大額は\$20,000になっております。
17. **申請からの審査プロセスで団体で異なることはあるのでしょうか。** 助成金プログラムでは団体の年間運営予算 100 万ドル以下の団体が優先されます。なお、フィスカル・スポンサーの運営予算は審査の優先基準にはなりません。また、1 回限りのイベントより、生活の質を持続的にサポートする定期的な、継続的に提供されるプログラムが優先されます。

申請プロセス、審査方法について

18. **申請書を受け取ったかの確認はどのようにして行われますか？** メールでの返信という形でご連絡させていただきます。

19. **Letter of Inquiry (LOI)を提出する必要はありますか？** いいえ。Letter of Inquiryを提出する必要はございません。
20. **他の団体などの助成金プログラムへ申請するのは、結果がわかるまで待つべきでしょうか。** いいえ、待たずにぜひ様々な助成金へ申請し、複数の財源を探すことを推奨します。
21. **現地調査・視察をしますか？** 今年は追加で電子メール、電話、またはテレビ会議で追加の質疑応答等を実施する可能性があります。申請団体とのやり取りは、安全な方法を優先します。申請書をレビューする時に、申請団体への追加の質問などの目的で、ご連絡をさせていただく場合があります。申請書を見ているスタッフより、事前に日時を設定した上で電話をかけることとなります。安全のため、ほぼ全ての現地調査を今年はオンラインまたは電話で行います。
22. **ファックスもしくはEmailでの申請書類の提出は可能でしょうか。** はい、電子メールでの提出は可能です。しかしながら、ファックスで送りたい場合は事前に grants@keiro.orgまでご連絡ください。すべての申請書類を電子版でいただきたいと考えております。添付ファイルが大きいため一つのメールで送付が難しい場合は、複数のメールに分けて送付いただいても構いません。ファックスされる場合は213.873.5799までファックスいただき、その旨メールいただければと思います。
23. **同じ年度内に複数のプロジェクトを計画している場合、追加の提案書を提出できますか？** 多数のコミュニティセンター、教会、寺院が高齢者向けのプログラムを複数実施していることかと思われます。一つの団体から複数の申請書を提出していただくことは可能です。しかしながら、複数の申請書を提出いただいた場合でも、一つの団体に対する助成金の最大授与金額は20,000ドルとなっております。また、より大規模な団体の傘下において財政支援を受けている団体からの申請書も受理します。この場合、フィスカル・スポンサーになる側の団体と支援を受ける側の団体は、別の組織とみなします。
24. **申請が受理された・されないはいつ、どのようにしてわかりますか？** すべての申請団体には、助成金審査委員会がすべて検討し、最終的な審査結果を提示していただきます。その結果が最終的に皆様に電子メールで通知されるのは2023年の3月を予定しております。

25. **申請書以外にどのような書類を提出する必要がありますか？** 詳細はウェブサイトの助成金ガイドラインをご参照ください。

26. **最近申請書を提出しましたが、助成金をもらえませんでした。同じ内容で再申請してもよいでしょうか？** 前回受領しなかった場合でも再度の申請は可能です。以前受領しなかった場合でも一年ごとの助成金ですので申請は可能です。Keiroの電子ニュースレターより情報発信しておりますので興味がある方はぜひウェブサイトからご登録ください。

申請書のフィードバック、受領できなかった場合

27. **申請書類を早めに提出すれば、スタッフからのフィードバックはもらえるのでしょうか？** はい。9月30日までに早期提出いただき、レビューが欲しい、というリクエストをいただいた書類はスタッフが確認し、フィードバックを提供させていただきます。しかしながら、10月1日以降提出の場合は対象外とさせていただきます。このレビューは拘束力を持たないフィードバック（Non-binding feedback）です。必ずしも助成金審査委員会の見解を反映しているとは限りません。

28. **私たちの申請書が却下されました。理由を教えてくださいませんか？** Keiroは、Keiroの重要な関心分野に最も合致する、他の模範になるようなプログラムやプロジェクトを求めています。助成金授与の対象にならなかった申請書については、喜んでフィードバックお知らせします。プログラムディレクターのマコト・コタニ（Makoto Kotani、grants@keiro.org）まで電子メールでご依頼ください。日時を決めて詳細なフィードバックを提供させていただきます。

報告および再度の申請について

29. **助成金を受領した場合、最終報告書はいつまでに提出するべきでしょうか。** 最終報告書は12か月の助成金のプログラム期間の最後に提出となります。期間は受領されてから12か月となります。また、中間報告書もございます。当初のプロジェクトのタイムラインから変更が必要な場合は、プログラムディレクターのマコト・コタニ（Makoto Kotani）grants@keiro.orgまでご連絡ください。

30. **最終報告書を受け取っていただけたと分かる方法がありますか？** 受け取った報告書はメールの返信という形で受理したとご連絡させていただきます。